

N-キナーゼ



ナットウキナーゼは、血小板凝集を抑制するだけでなく、既に形成された血栓の溶解に働く線溶系にも作用する稀有な分子です。その持続性にも特徴があり、血栓溶解剤（注射薬）の半減期（4～20分）に比較し、経口摂取したナットウキナーゼの半減期は長く、通常では8～12時間作用することが確認されています。

こんな方にお勧めします

- ▶ 中高年の方
- ▶ ストレスが多い方
- ▶ 飲酒、喫煙が多い方
- ▶ 脳梗塞・心筋梗塞の予防や治療
- ▶ メタボリックシンドロームの方
- ▶ 頭脳労働が多い方
- ▶ 血栓がしやすい病態の方 など

ナットウキナーゼの活性

ナットウキナーゼの線溶活性の測定法が開発され、単位は「FU」（Fibrin Degradation Unit、フィブリン分解ユニット）と決められ、近年公的機関においても認知されています。1500FU以上摂った場合に効果が認められます。

市販の納豆1パック（50g）当たりには、1,000～2,000FU程度入っていますが、一定ではありません。ウロキナーゼの構造分析を行った須見によると、納豆の血栓溶解能は湿重量100gでウロキナーゼの16万国際単位に相当し、臨床で用いられる1回分にほぼ等しい活性であったとしています。